

お待ちしています!

≫ どんなことがあったら嬉しい?



✓ 生きものを観察したり自然を守る↑ 活動に、子どもと気軽に参加できるイベントがあったらいいな!

≫ 計画にどんなことを入れたい?



同じように活動している 保全団体の方々と情報交換 できる場がほしい!



例えば木のストローなど、自社の強みを 生かした製品を開発し、SDGsと絡め た取組を市と一緒にやりたい!

「生物多様性地域戦略」の サブタイトルも募集します

市民のみなさんと一緒に戦略を進めていきたい!と思いを込めて作りましたが、

「何だか堅苦しくて難しそう・・・」 「私には関係ないことだし・・・」と 思う方も多いかもしれません。

そこで、**市民のみなさんに親しんでもらえるような 名前**をつけたらどうか?と考えました!

取組の第1歩として名付け親になってみませんか? みなさんのアイデアをお待ちしています!



採用された方には、何かいいことがあるかも!

意見募集用紙はこちら

第2次静岡市生物多様性地域戦略(案)の本編と概要版が閲覧できます。

- (1) 環境創造課 (静岡庁舎 新館13階)
- (2) 各区役所の市政情報コーナー
 - 葵区:静岡庁舎 1階
 - 駿河区:駿河区役所 3階
 - ・ 清水区:清水庁舎 4階
- (3) 各生涯学習センター及び生涯学習交流館
- (4) 静岡市ホームページ (https://www.city.shizuoka.lg.jp/041_000243.html) ※右のQRコードまたはホームページからアクセスしてください。

第2次静岡市生物多様性地域戦略(案) パブリックコメント

 上

ご意見の提出方法



募集期間内に、次の**いずれかの方法**で意見応募用紙をご提出ください。

1. 郵 送	〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 環境創造課 あて
2. ファクシミリ	FAX番号 054-221-1492
3. 持 参	環境創造課(静岡庁舎 新館13階)
4. 電子申請	市ホームページにある応募専用フォームでご提出ください。



写真提供:「NPO法人静岡県自然史博物館ネットワーク」

~お問い合わせ先~

静岡市環境創造課自然ふれあい係 (電話: 054-221-1319 FAX: 054-221-1492)









生物多様性とは、豊かな自然や様々な生きもののバランスであり、 自然が与えてくれるすべてのものは、「生物多様性」による恵みです。 食べ物はもちろん、自然を楽しんだりすることも恵みの1つです。



食べ物や水









豊かな自然環境

「生物多様性」による恵み

生物多様性を保つには、

自然や生きものを守るための活動が必要ですが

その活動は一部の方にとどまっています。

Q. 自然を守るために行っていることは?

省エネ 42.1%

地元の食材を食べる 52.6%

環境に優しい商品を買う 13.4%

自然保護活動を行う 3.0%

自然体験の講座に参加 2.4%

特になし 14.6%



Q. 今後参加したい活動はある?

※ 複数回答可

静岡市の豊かな自然を未来へつなぐため、 多くの方に自然や生きものに 興味・関心を持ってほしい!



出典:「令和2年度 静岡市市民意識調査」

新たな戦略としてパワーアップし、

市民のみなさんが楽しみながら参加できる 新たなプロジェクトを進めます!!

<目指す将来の姿> 生きものとの共生による、 健康で豊かな暮らしを 次世代に受け継いでいく社会

第1次生物多様性地域戦略

第2次生物多様性地域戰

2011年 2020年 2030年 2040年

ゴール

2050年

スタート

市では、自然と親しむライフスタイルを楽しみながら 自然や生きものとふれあう取組を 考えていますが、参加したいと思いますか?



まちなかでふれあう



草木や花、野鳥などを観察し、気軽に自然や 生きものと関われる機会を提供します。

※一部抜粋のため、もっと知りたい方は 概要版か本編をご覧ください。

駿府城公園でのセミの抜け殻観察会



セミの種類や生態、見分け方、環境の変化などについて学習する機会を提供します。



幼児期からふれあう





こども園などに指導員を派遣し、園庭や 自然の中で遊びながら学ぶ機会を作ります。

幼児が楽しめる遊び方などの情報提供

12 2003 RE 15 ROBAGE 17 (H-1-2-2)



先生や、保護者の方向けに幼児が 楽しめる遊び方などの情報を提供します

生きもの調査でふれあう





カルガモ

「水のおまわりさん」による川の調査



「水のおまわりさん」になって、川にいる 水生生物を調べる機会を作ります。 (夏休みの自由研究などにも使えます!)





親子で参加できる調査を実施し、 市民調査員として活躍できる機会を 作ります。

